

# まちかど ネットワーク

## お便りください

このコーナーは、皆さんの地域の話題を中心にお届けします。

お便りや出来事を広報広聴課51  
-0123内線2822へお寄せください。

## 市長への 手紙から

### きれいにしたい田子の浦港、ごみ箱を置けないでしようか。

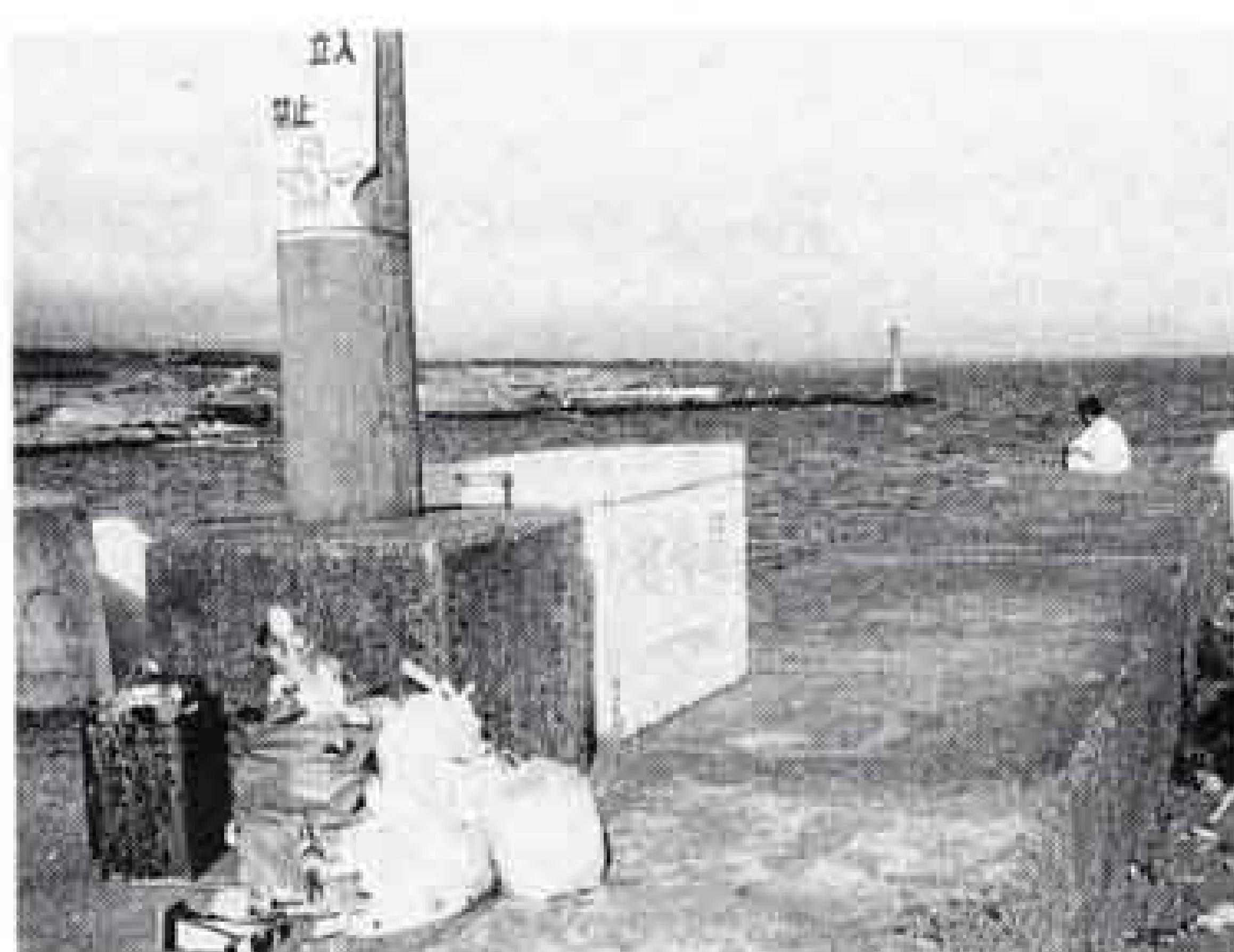
このコーナーでは「市長への手紙」の中から、提言などを紹介します。今回は市政モニターの保科はる子さん(水戸島上)の「田子の浦港にごみ箱の設置」についてです。

#### 市長への手紙

過日、横浜から友人がみえまして、「田子の浦の山部赤人の碑を見たい」と言うので行つて参りました。碑を見て少々がつかりしました。背景がお粗末で、その周りには何もありません。

その上、カーフエリーの方へ行ってみると、海は川から流れ込んだごみでいっぱいです。これから旅に出ようとして、カーフエリーに乗り、海を見て富士山の写るはずの海には、発泡スチロールや洗剤の空きびん、木片などが浮き、美しいところではありません。

また、白灯台の方に行きましたら空き缶とごみくずで、周りは散乱しています。釣りに来た人のごみと思いますが、ごみの中で釣り



△白灯台付近

をしているような始末です。あそこにはごみ箱を置けないでしょうか。他所から来た人に、「ここが田子の浦か」と見ていただけるようなどころにしたいと思います。

#### マナーの向上を期待

#### 市長の答え

田子の浦港を管理している県の田子の浦港管理事務所によれば、次のような回答でした。

ごみについては、頭を痛めている問題です。環境週間等に清掃をしているですが、焼け石に水の状態です。ごみは本来住民のモラルに帰する問題で、港の周辺はごみ箱を置くというより持ち帰っていたことがあります。

また、港湾の中のごみは、隨時回収船を出し、処理しています。

なお、特に御指摘の白灯台付近は原則的に立入禁止の場所で、工事車両の出入口になっています。今後は入口に鎖をし、関係車両以外は入れないようになります。

いずれにせよ、ごみについては住民の皆さんのモラルの向上を願うものです。



保科はる子さん

### 硬筆で三年連続市長賞

#### 「練功」の普及を



永井敏枝さん

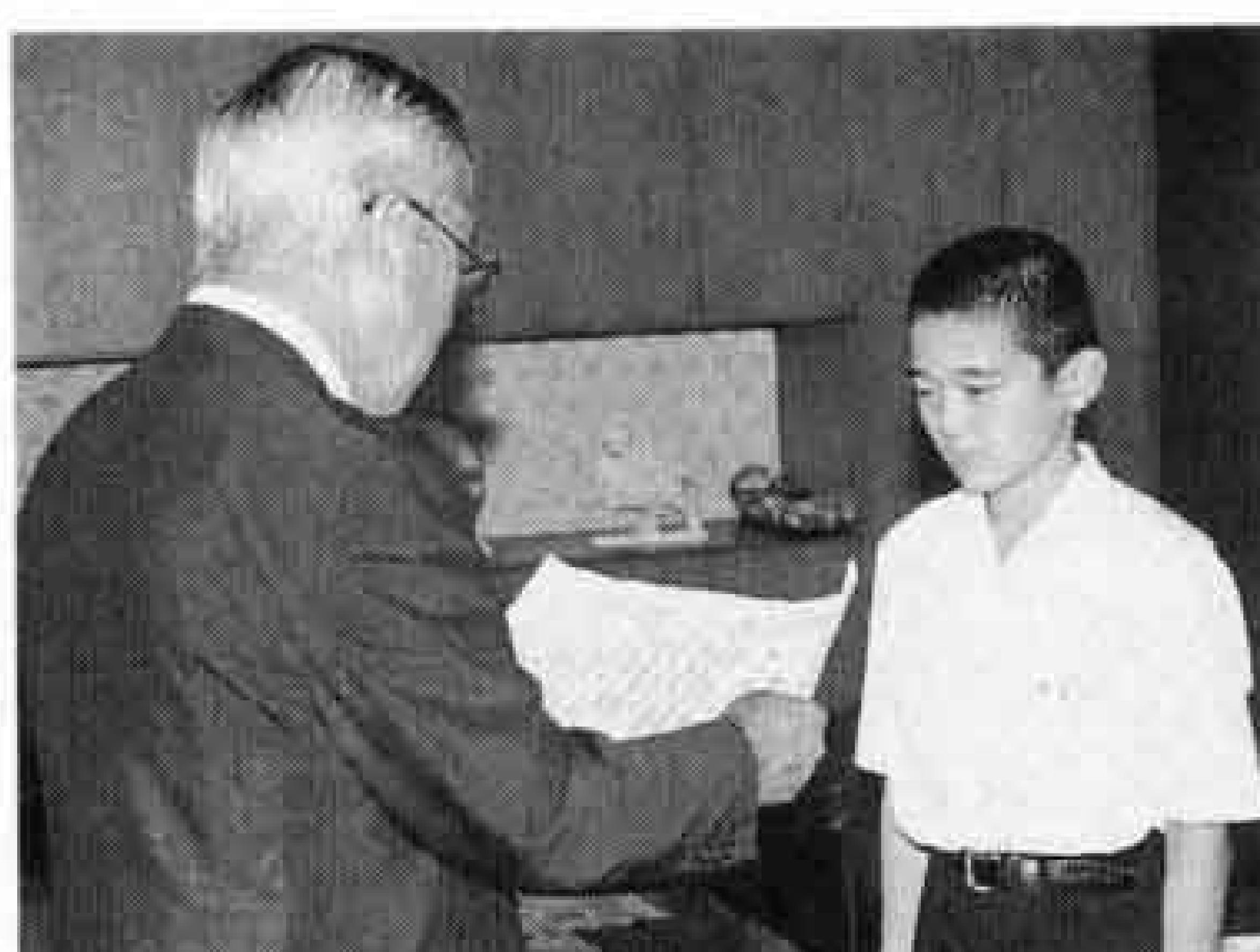
永井敏枝さん(広見町九)はまだあとけなさの漂う富士東高等学校の講師として活躍している吉川三枝子さん(森島)は、最近中国生まれの「練功」という体操の普及を始めました。二年連続市長賞という快挙を成し遂げました。受賞作品は小倉百人一首から九首を変体がなで書いたもの。「練習不足で自信はありませんでした。ワープロの時代だからこそ手書きの文字でハートを伝えたいと思います」とつづります。

「練功は中国音楽にのつて腹式呼吸をしながら筋を伸ばし、関節を柔らかくする体操です。ゆったりとしたテンポで、病気の治療や予防になり正しい姿勢をつくります。お年寄りを初めだれでも簡単にできます」とのこと。詳しくは☎六三一〇六九六へ。



吉川三枝子さん

### 下水道コンクールで入賞



△市長から賞状を受ける  
加藤君(右)

九月十日は下水道促進デー。九月十一日から二十四日まで新富士駅で下水道展が開かれ、ポスターやバナーなどが展示されます。昨年展示された加藤正幸君(須津中一年)のポスターは、全国コンクールで入賞し、このたび鈴木市長から賞状が伝達されました。入賞者は県でただ一人です。ポスターはアシの葉にトンボがとまり、「きれいな水をありがとう」と標語がデザインされたものでした。

### わいわい広場